

〇〇〇もんずら

3つ目合うと・・・

十月や^{こめかみ}顛顛^{さんま}さやに^{いしだ はきょう}秋刀魚^{いしだ はきょう}食う 石田波郷『波郷百句』(昭22)

こめかみってこんな漢字なんだ！耳が3つもあるのに驚きました。

或る^{あ やみ むし}闇は^な蟲^なの形をして哭けり ^{かわはら び わ お}河原枇杷男『密』(昭45)

虫が3つです！調べたところ「虫」の旧字体でした。

一本の^{つど}森思はする木の下に子供ら^{つど}集ふ^{わたなべ すみこ}誰の居ぬ日も 渡辺純子『緑の中に』(平16)

ここにも発見！木が3つです。



大岡信著『折々のうた』を時々読みます。日常生活を詠む短歌や俳句等に魅かれています。その「秋のうた」の中で偶然出会った漢字、1つでは国語で習いましたが、3つ合わさると？

音読み—訓読み（ ）は熟語や意味

ということで、同じ漢字を3つ組み合わせて構成される漢字を調べてみました。同じ漢字を上1つ下2つ組み合わせた字を【品字様】というそうです。その数の多さにびっくり！



品ヒン—しな④3 晶ショウ—あき④2 森シン—もり④1

習った漢字です。次からは中学校3年生までに習う常用漢字2136字に入っていない。

磊^{らいらく}ライ(磊落) 森^みミョウ(水が広がる) 焱^{えん}エン(ほのお) 晶^{しょう}ライ(とりで)

蟲^{ちゅう}チュウ—(むし) 焱^{えん}ヒョウ(犬が群がり走る) 最^{ひいき}ヒ(最良) 蠶^{さん}セン(なま)

犇^{ほん}ホン—(はしる) 麤^ろソ(粗い) 驪^りヒョウ(馬が走るさま) 犇^{ほん}セン(生臭い)

聶^{しょう}ショウ(ささやく) 蠹^くカ(悪口を言う) 恣^そスイ—(うたがう) 蠹^{ぜい}ゼイ(にこげ) 晶^{しょう}キョウ(真っ白い)

轟^{ごう}ゴウ—(とどろく)・・・まだまだあるようです。読めなくても3つ組み合わせることでその場の状況が何となく想像されます。漢字をこんなに調べたのは、『鬼滅の刃』の登場人物名の読み方を調べて以来。鬼殺隊最高戦力胡蝶しのぶは^{むし}蟲柱とか。アニメに難しい漢字が多用されているのは、漢字が魅力ある文字だからでしょう。